

大連森林動物園



大連森林動物園は、大連市白雲山風景区内に位置する国家 4A 級観光地です。園内では約 200 種類、3,000 頭以上の動物が飼育されており、パンダ館を中心とした、多彩な施設を備えています。山と海に囲まれた豊かな自然環境の中で動物たちを観察できることから、大連を代表する人気観光スポットの一つとなっています。

動物園は「人間は汚染のない都市環境で生活し、動物は人間の干渉を受けない自然環境で生きる」という理念のもと 1997 年に整備されました。園内では自然の地形や植生を可能な限り活用した展示方法が採用されており、日本の動物園とは異なる、より自然に近い環境での飼育展示が特徴です。

園内は大きく「サファリ・放し飼いエリア」と「屋内展示エリア」の 2 つに分かれています。

南門側に広がる「サファリ・放し飼いエリア」には、パンダ館や爬虫類館があるほか、自然の地形を活かした広大な放飼場が整備されており、動物たちの野生に近い姿を観察することができます。

一方、北門側の「屋内展示エリア」では、ホッキョクグマやペンギンなどの海獣類をはじめ、ゾウや世界各地の鳥類を展示しており、さまざまな動物たちを間近で楽しむことができます。

サファリエリアは広大ですが、カート(有料)に乗りエリア内に数か所ある停留所で降りることができます。このほか、エリア内には売店やトイレなども複数設置されており、体力に自信のない方でも安心して楽しむことができます。

おすすめスポット
【サファリエリア】
○パンダ館



パンダ館は、大連森林動物園を代表する人気スポットです。

南門から入場し左手へ進むと、すぐにパンダ館が見えてきます。2012年に開館したこの施設は、複数のジャイアントパンダがそれぞれ独立した広い生活空間で過ごせるよう設計されており、ゆったりとした環境の中でのびのびと暮らしています。

館内に入るとまず目を引くのが、中央に設けられた大きなガラス張りの屋内運動場です。来園者はさまざまな角度からパンダたちの様子を観察することができ、食事や遊び、休息など自然な行動を間近で楽しめます。

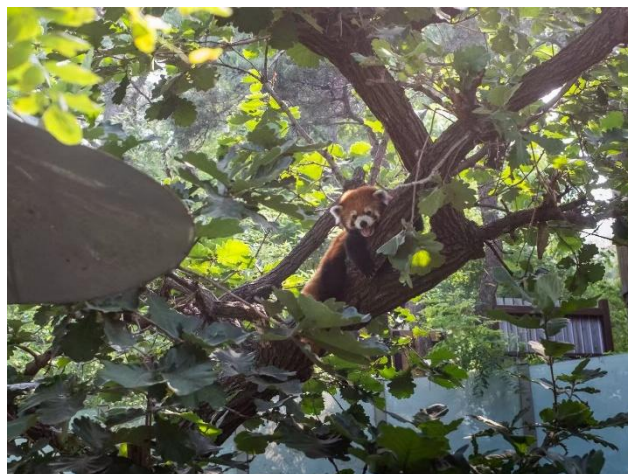
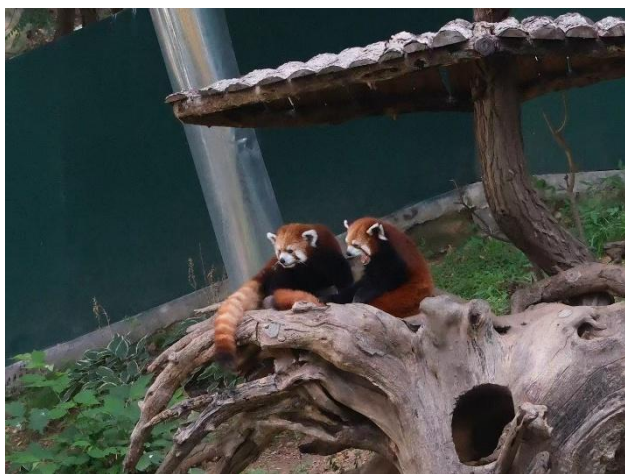
現在パンダ館では、「雲飛（ユンフェイ）」「金虎（ジンフー）」「妙音（ミャオイン）」の3頭のジャイアントパンダが飼育されています。この3頭は幼いころから共に育った仲間であり、「大連三宝（大連の三つの宝）」の愛称で親しまれて

います。

大連森林動物園の魅力の一つは、こうした人気者のジャイアントパンダを比較的ゆったりと鑑賞できることです。混雑を気にせず、食事をする様子や遊ぶ様子、くつろぐ様子などもじっくり観察することができます。

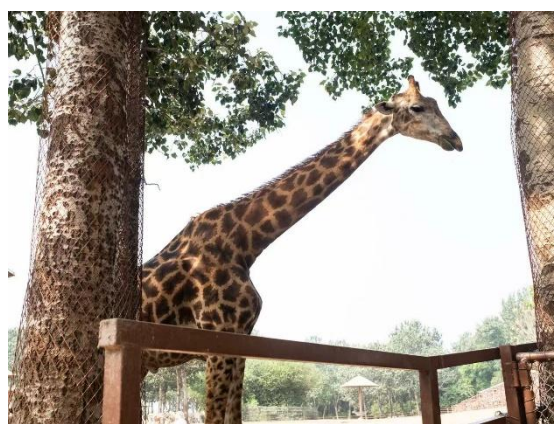
パンダは午前中に活発に活動する習性があります。食事の様子や元気に動き回る姿をご覧になりたい方は、午前中の早い時間帯での来園がおすすめです。

また、パンダ館に隣接するショップでは、パンダをモチーフにしたぬいぐるみや雑貨、お菓子などのオリジナルグッズも販売されており、お土産探しにもおすすめです。



レッサーパンダの飼育エリアも隣接しており、合わせて楽しむことができます。人間の見学通路と動物のエリアが柵だけで仕切られており、レッサーパンダたちがすぐ目の前の木を登ったりします。遮るガラスがないため、カメラのレンズを向けるのに最適の環境です。

○アフリカ草食動物区



アフリカ草食動物区では、広大な飼育エリアの中で、キリンやシマウマのほか、

ダチョウやカバ、ガゼルなど様々な草食動物が自然な姿で暮らしています。動物たちの行動をじっくり観察できるだけでなく、エリア内に設置された解説パネルで動物たちの生態や保護活動などを学ぶことができます。ふれあい体験ゾーンでは、20 円でキリンやシマウマへの餌やり体験を楽しむことができます。

○猛獣区



猛獣区では、シベリアトラ(東北虎)やジャガー、クマなどが、それぞれのエリアでのびのびと暮らしています。猛獣区は好みに合わせて二つの異なるルートで見学ができます。一つは、空中高架木道です。猛獣区の上空をまたぐように頑丈な高架歩道が設置されています。はるか下で木陰に潜むトラなど、猛獣の生態をじっくりと観察することができます。



もう一つが、大連森林動物園で最もスリリングな体験ができる「猛獣投食車」です。車全体が頑丈な金網で守られたバスに乗り、この猛獣区を進むことができます。バスが停まると写真のように大きなクマやトラ、ライオンがすぐ目の前まで近づいてきます。安全な隙間から直接エサをあげることができ、猛獣たちのリアルな息遣いや力強さを間近で体感できます。通常の入場料とは別に 80 元のチケットを買うことで乗ることができます。

【室内飼育エリア】

○大象館



大象館では三頭のアジアゾウが飼育されています。大連森林動物園で飼育されているアジアゾウは、1997年の開園時、タイ王室及びタイ政府から大連市に贈られた外交の象徴です。20元ほどで販売されているエサを購入すると、安全な策越しに、象に直接エサをあげることができます。

○鶴園



元パンダ舎の跡地と周辺の緑地に作られた、屋外の湿地展示エリアです。世界に15種類しかしないツル類のうち、タンチョウやマナヅルなど13種・100種類を展示する世界的にも珍しい施設となっています。このほか隣接する「生態鳥館」では、熱帯雨林の植生を再現した施設内で、色鮮やかなオウムなど熱帯の鳥類をみることができます。

○極地科学館



極地科学館では、ホッキョクグマやシロオオカミ、マゼランペンギンなどの代表的な極地動物が飼育されているほか、多くの動物標本と詳しい生態紹介パネルなども展示されています。また、地球温暖化が極地動物に与える影響などの環境問題を、視覚的にもわかりやすく解説しています。言語の壁を越えて、子どもから大人まで直感的に環境保護の大切さを学ぶことができる施設です。



大連森林動物園には、本稿で紹介した以外にも数多くの魅力的な施設や展示が存在します。広大な園内を歩いていると、思いがけない動物との出会いや新たな発見に出会えるかもしれません。山と海に囲まれた豊かな自然環境の中で、動物たちの野生に近い姿を楽しむことができる大連森林動物園は大人から子どもまで楽しめる大連有数の人気観光スポットです。大連観光の際には、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

交通アクセス

路線バス

南門：森林動物園南門停留所　5路、47路、49路、501路、541路、702路

北門：森林動物園停留所※　525路、529路、715路

※停留所から入場口まで約1キロメートル離れているため、入場口直結の南門停留所の利用がおすすめです。